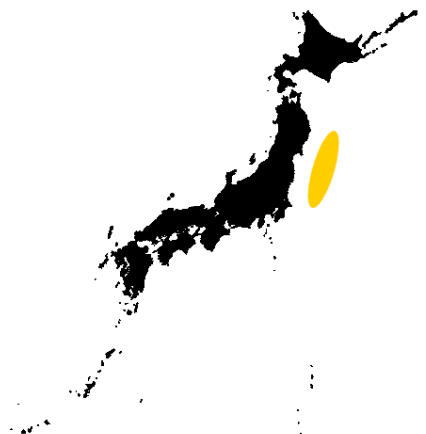


2011年3月11日に発生した大震災。震災が直接影響したオリエンテーリング・ロゲイニング大会をまとめてみた。



2011年3月11日14:46分、東北地方太平洋沖地震が発生。マグニチュード9.0は日本測定史上最大。東北地方・関東地方に甚大な被害をもたらした。

中止・延期になった オリエンテーリング系イベント

3月13日	桜島ロゲイニング
3月20日	全日本大会(静岡)
3月25-27日	インターハイ(静岡)
4月3日	茶の里いるま大会
4月17日	全日本トレイルO

延期:桜島ロゲイニング

3月13日予定 →5月15日に実施
(鹿児島県)

震源から離れた鹿児島で、どうして地震の影響が出てしまったのか。それは津波の影響である。

東北地方太平洋沖地震によって津波警報が遠く離れた鹿児島県にも発令された。3月11日夕方より桜島フェリーが運航を見合わせており、公共交通機関にて桜島へ渡る事不可能となった。

また鹿児島県内でも九州新幹線開通に伴うイベントをはじめ各種イベントが中止・自粛となった。これを受けて実行委員会は3月13日の開催延期を決定した。結局5月15日に開催することになった。



延期:全日本大会

3月20日予定→5月1日に実施
(静岡県)

2011年3月13日、JOAならびに実行委員会は、地震による東北地方を中心とした被害の甚大さを踏まえ3月20日(日)の開催は中止する決定を行った。

中止の発表が行われてすぐの3月15日22時31分、静岡県東部にある全日本大会のトレイン付近を震源としてM6.0の直下型の地震が発生した。最大震度6強を記録している。

その後、この周囲の0-mapを管理する静岡県協会から、周辺トレイン自粛のお願いが発表された。その一部を引用する。

「村山地区では墓や石塔の倒壊が目立ち、瓦を損壊した家屋も数多く見受けられます。被災地域に配慮し、村山口登山道および日沢のトレインでは当面オリエンテーリング活動をお控えください。また、周囲の道路についても、地図のように通行止めになっているので、通行には留意が必要です。」

結局、延期開催されたのは5月1日であった。

中止:茶の里いるま大会

4月3日 予定→中止
(埼玉県)

中止決定は3月17日。参加者の安全を十分に確保できない可能性があるかと判断し開催中止を決定した。まだ関東地区が計画停電が予定されていた時期であり、電車の運行にも懸念があった。

延期:全日本トレイルO大会

4月17日 予定→5月7日に実施
(東京都)

結局5月7日に延期開催された。延期決定は4月5日。鉄道、電力インフラが安定してきたことが開催を決断できた要因だったようだ。

開催内容が変更されたイベント

東北大学大会(宮城)

9月17-18日 予定→9月25日予定

当初大会会場として予定されていたグランディ21(宮城県利府町)は、震災直後は遺体安置所になった。被災のなかでも最も悲しい場所となったこの場所は、地元の人には足が向かないだろう。

5月になり東北大学大会は日程の変更を発表した。新日程では9月25日の開催となる。開催場所も当初とは変更しているようだ。

関東地方全域のイベント

2011年夏、関東地方は深刻な電力不足が見込まれる。これに伴って夏場のライフスタイル自体にも見直しが行われている。

ここ当分国立系大学では前期試験を8月上旬までかけて行い、夏休みを8月上旬から9月末日までとするスケジュールが実施されてきた。だがこれは8月上旬の冷房需要を引き上げることになっている。今年は梅雨明けの7月中旬から夏休みとなり、前期試験は9月に入ってから行うスケジュールとなりそうだ。日本の気候に合った本来の夏休みの形になる。今年からは夏から秋にかけての学生のスケジュールが大きく変化しそうだ。

スポーツで元気ある日本へ

震災直後は日本人のスポーツマインドが大きく低下した時期でもあった。また各地では旅行、行楽、興業が数多く中止された。しかしこのままでは経済は回らないし、日本全体に元気がなくなってしまう。

こういう時期だからこそ、被災しなかった人たちは元気をだしてゆきたい。スポーツイベントはこうした力のきっかけのひとつになれるのだ。

(木村佳司)